

# 萌黄 (もえぎ) 通信



こんにちは！  
中央道を運転中に、フックにかかってボンネットが開いているのを並走ドライバーが教えてくれてホッとした堀内貢次（ほりうちこうじ）です。（^^）  
4月といえば、桃の花です。

中央道の両サイドが桃の花でピンク色のじゅうたんを敷いたように見える時期です。

つい見とれてしまい、「あっ！車線はみ出て走ってたあ〜（>\_<）」とならないようにお気を付けください。

「え！高尾山が・・・！」

3月19日（土）、八王子で、知人の健康的なJさんとお会いした時の事です。ふとJさんにきいてみました。

私「八王子で有名なところは何ですか？」

J「高尾山！！」

私「登ったことはあるのですが？」

J「暇さえあればウォーキング代わりに高尾山に登ってるよ〜！！」



え〜高尾山がウォーキング代わりになっちゃうんですね。

Jさんは何てタフなんだろうってビックリしました。

Jさん、元気になるお話を聞かせてくれてありがとうございます。

## 黒い石灰岩にウェットコート再塗布

昨年仕上げた外構の黒い石灰岩のガレージ床が屋根の端から、雨水が入り込むようで埃と混じって、石幅3枚分が特に、白茶けるようで、この部分の再塗布の依頼が入りました。  
まずは、テープにて養生をして施工範囲を決めます。

ウェットコート塗布前には、やはり洗浄は大切なので、メラミンスポンジを使用して洗っていきます。

しつこい汚れ部分は、薄い洗剤で付着物等を取り除いて、十分なすすぎをして乾燥を待ちます。

ウェットコートは刷毛で一枚一枚塗布していき、二幅分くらい塗布したら、ウェスで拭きあげていきます。拭きあげなしも出来ませんが光沢が出てしまい、この石種の場合はつや消し仕上げ

の方が自然なのでしっかりと拭きあげます。黒さが映えるので、塗布後数日は、汚れが目立ちますが、だんだんと周りとなじんでくるかと思えます。



1. 施工箇所を区切る



2. 洗浄中



3. ウェットコート塗布



4. 施工完了後

## ライムストーンに付いたのり剥離剤シミ

モカクリームの壁面にのりの剥離剤が付着し浸み込んでしまい濡れシミになっています。すすぐ前に石目に入り込んでいます。剥離剤を溶かしきるよう何度か溶剤ですすぎ除去します。



編集後記：地元の道の駅とよとみで売っている石焼き芋が美味しくてはまっています。小ぶりなんですけど、蜜が表面ににじみ出てこれはホント美味です。（^^）

萌黄通信 基本的には毎月発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次（ほりうちこうじ）

（東京出張所） 東京都港区浜松町1-1-10 5F

（電話）03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198 感想・ご意見お待ちしております

<http://www.e-kands.jp> (メール) [info@e-kands.jp](mailto:info@e-kands.jp)